

北海道浮魚ニュース

平成 19(2007)年度 9 号 (通巻 No.242)

2007 年 7 月 23 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

日本海スルメイカ長期漁況予報発表される。

今年の日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されましたので、北海道に関連する海域の予報文および参考となる図をお知らせします。

なお、この予報は日本海区水産研究所を中心にして日本海側道府県水試が共同で行った日本海スルメイカ漁場一斉調査の結果に基づいています。詳細な予報文は下記のホームページに掲載されます。

水産庁 URL : <http://www.jfa.maff.go.jp/release/index.html>

平成 19 年度 日本海スルメイカ長期漁況予報

対象期間 : 平成 19 年 8 月 ~ 12 月

対象海域 : 日本海

1. 道北・道央海域 (小型いか釣り)

(1) 来遊量 : 近年平均および昨年並み。

(2) 漁期・漁場 : 道央では 8-9 月に近年平均及び昨年をやや下回る。

(3) 魚体の大きさ : 道北は 8 月まで近年平均より大きい。

道北・道央海域では 7~8 月と 10~11 月に漁獲量のピークがある。前半は秋季発生系群が主対象であり、後半は冬季発生系群が主な漁獲対象となる。本年は魚群の移動が早く、6 月の漁獲量は昨年及び近年 5 年平均を上回った。漁場一斉調査結果では、今年の当海域への来遊量は近年平均を下回るものの、道北では昨年を上回った。

今期の漁況は、近年平均および昨年並みと予想されるが、道央では 8 月~9 月に近年平均および昨年をやや下回る。魚体の大きさは、道北では 8 月までは近年平均より大きい。

2. 道南・津軽海域 (小型いか釣り)

(1) 来遊量 : 近年平均および昨年並み。

(2) 漁期・漁場 : 10~11 月にもピークが見られる。

(3) 魚体の大きさ : 前半は近年平均より小さい。

道南・津軽海域では例年 7 月が漁期のピークであり、年によっては 10~11 月にもう一つの小さなピークが出来る場合がある。本年 6 月の漁獲量は近年平均および昨年を上回った。漁場一斉調査結果では、今年の当海域への来遊量は近年平均並みであった。

今期の漁況は、昨年および近年平均並みと予想される。また、10~11 月にも漁期のピークが見られる可能性が高い。魚体の大きさは近年平均より小さい。

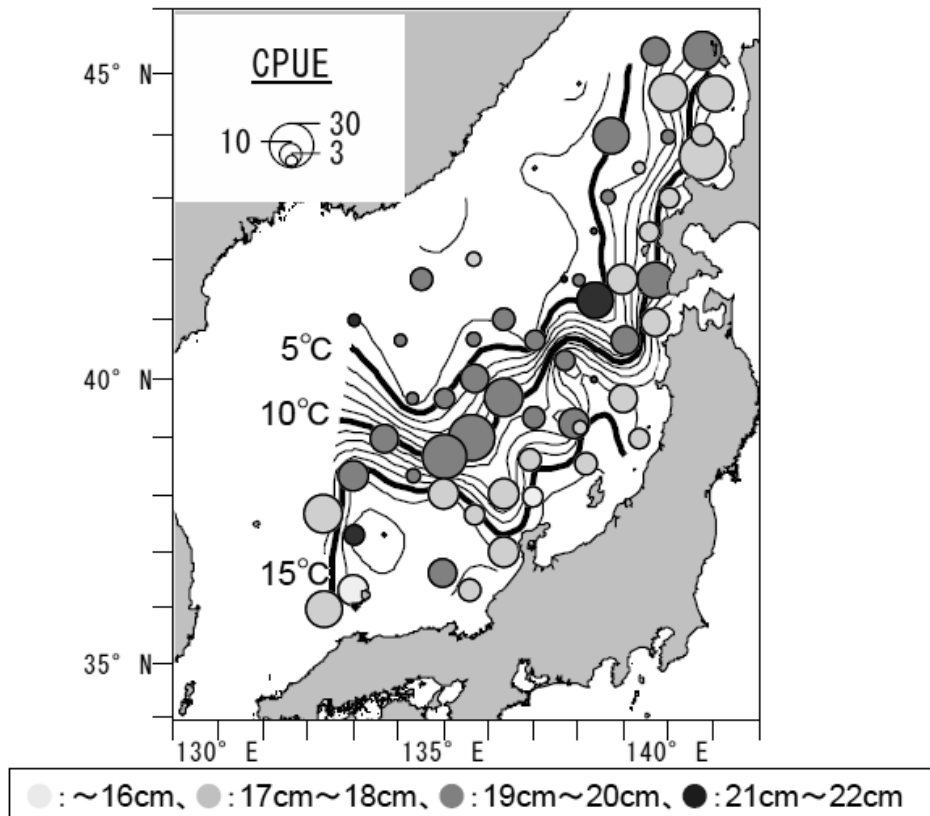


図1 日本海におけるスルメイカの分布状況

の面積は各調査点の分布密度の指標となる CPUE (釣機 1 台 1 時間あたりの採集個体数) を示し、 の色は平均外套背長を示す。水深 50m の水温分布も合わせて示した。

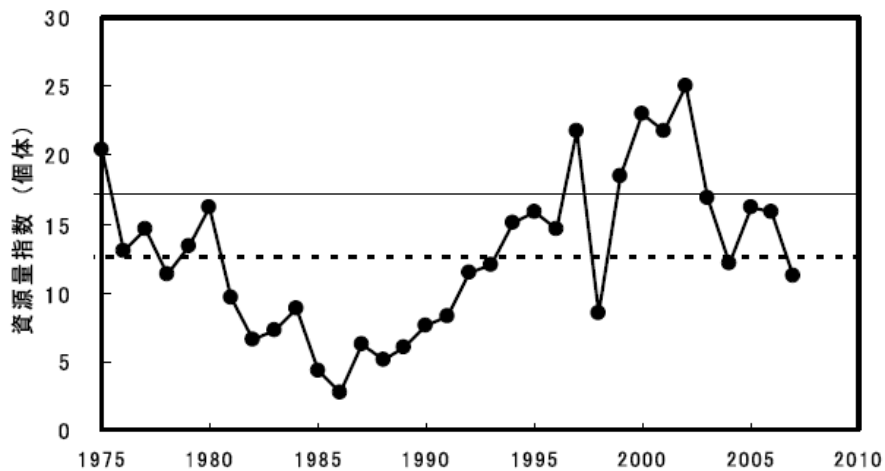


図2 スルメイカの資源量指数の変化

全調査点の平均 CPUE を資源量指数としている。

細線は近年 1 年平均 (17.21 個体)、点線は 30 年平均 (12.54 個体) を示す。

(図は独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所取りまとめ資料より)

(文責：中央水産試験場資源管理部、TEL:0135-23-8707、FAX:0135-23-8709)